

課題

【算数】目的に合った数の処理の仕方における考察が苦手

手立て

目的に合った数の比較・検討方法を指導する

具体例

POINT① 値段が安くなる買い方を予想する。

- 生活体験を基に、値段の大小を予想する。
- 能率的に比較する。
 - ・生活場面における買い物時の想起
 - ・比較方法の明確化
- 買い物をするという身近な事柄を取り上げ、普段の自分の買い物を想起しながら予想する。

- ※自由な発想で予想する。
- ①85と21の一の位を切り捨てて、 80×20 として計算してみよう。
 - ②四捨五入して 90×20 として計算してみよう。

POINT② 問題を焦点化する。

- 概数における基礎・基本の定着
 - ・概数の言葉やその意味の指導
- 問題の焦点化
 - ・どの方法で計算すれば概数を導き出せるか。
- 概数は、およその数であるため、児童個々に出し方は様々なことを鑑み、出した答えに寄り添う。

切り捨てて計算する方法と、四捨五入して計算する方法について確かめてみましょう。



POINT③ 導いた回数が適切であるか検討する。

- 考えのベースを確認
 - ・ 85×21 よりも大きくなってはいけない。
- 切り捨て、切り上げ、四捨五入の考え方について場面を考えながら理解を深める。
 - ・様々な概算に対する検討
- ノートに図等を書かせ、筋道を立てて考え、結論付けられるようにする。

一方の数を大きくみて、もう一方の数を小さくみる概数は、実際の数の積より結果が大きくなる場合と小さくなる場合があります。

